

# 六斎念仏

ひつつんつん



## 六斎念仏～ひつつんつん～の由来

平安時代から鎌倉時代の間京都で始まり、戦前まで北摂地方にも広く分布していた、太鼓を叩きながら念仏を唱えるという音楽性豊かな伝統芸能です。今日ではこの芸能を北摂地方で伝承しているのは加茂地区のみとなり、貴重な伝統文化となっています。前身である伝承団体「六斎講」が後継者不足のため昭和50年頃解散しましたが、平成12年に「郷土芸能伝習会」を立ち上げ、現在は「川西市加茂ひつつんつん保存会」として地域の子どもたちへの伝承に力を入れています。



## 六斎念仏～ひつつんつん～の内容

例年8月13日、加茂墓地公園から始まり、阿彌陀寺、常忍寺の順番で念仏を奉納します。鉦を持った「カネウチ」2名、太鼓を手にくりつけた「タイコウチ」複数名で構成され、「カネウチ」2名は両端、その間に「タイコウチ」が一行に並びます。「カネウチ」の一人「サンヒキ」が念仏を唱えたのち、太鼓方が念仏を唱えながら太鼓を上下左右に動かして演奏します。

太鼓が終われば回向があり、これを唱和して

ひつつんつんが終わりとなります。曲目は全6曲。3曲目の「打ち分け」が昔からの見どころ。

- ① 通り一
- ② 通り二
- ③ 打ち分け
- ④ 豪賛一
- ⑤ 豪賛二
- ⑥ 豪賛三

阿彌陀寺で演奏

加茂墓地公園で演奏

常忍寺で演奏



## 六斎念仏～ひつつんつん～

〔日時〕8月13日

18:00～20:00

〔場所〕常忍寺

〒666-0025兵庫県川西市加茂2-10-23



保存団体

川西市加茂ひつつんつん保存会

代表 葛野 公明さん

裏面に葛野さんのインタビュー記事を掲載しています



## 伝統芸能復活のための3条件

川西市教育委員会にビデオテープが残されていたこと、川西市史に完全採譜されていたこと、かつての講の一員から太鼓の口伝を受けたことという3つの条件が整い、ひつつんつんを復活伝承することができました。平成11年に再現を試みましたが、細かい所作はビデオテープでは確認できなかったため一度は断念しました。しかし、「失敗したら何とでもやってやろう!」という思いが湧いてきて、翌年その思いを叶えることができました。

この芸能を保存するために変更したことは、まず子どもを中心にし、衣装を古風にしました。伝統を変えることに批判があるかもしれませんが、結果的に変更しなければ保存できなかったと思います。



## 伝統芸能を魅力的にする工夫

私は「子どもたちを地域のスターに育てる」というつもりで臨んでいます。その理由は第一に、地味で素朴な芸能を、子どもの持つ魅力で補ってもらうことです。重い太鼓や鉦を大人に合わせて演奏する、一生懸命な姿が人気を呼びます。この時、自分を見てみんなが喜んでくれるスターの気持ちを味わうのだと思います。

やがて、節回しや、ばちさばきが上達し芸能伝承者に成長します。人気は常に新入りの小さい子どもに持っていかれますが、皆が元ちびっこスターですからよく理解して大人の役割を果たしてくれるようになりました。保存会のメンバーの年代が幅広いのはこのためです。



## 民俗宗教の動態保存

江戸時代の農民の生活というのは、今と違って土曜日も日曜日もない過酷なものでした。休みと言えば盆と正月のみで、家族とともに過ごし、休養を取り先祖や神仏に宗教儀礼をします。現代では農業に携わる人の数は少なくなってきたため、こうした状況を想像することさえ難しく感じられます。そのため六斎念仏のような芸能の良さがわかるのも、農家の方がいてこそだと思います。また今の子どもたちは自宅に仏壇がないところも多く、仏壇の前で南無阿弥陀仏を唱えることの意味を理解できない子どももいます。時代の流れとともに変えざるを得ないところもありますが、民俗宗教の動態保存ともいえるひつつんつんを冊子や動画として残していくことで、継承しやすくなるのではないかと考えています。

## 六斎念仏～ひつつんつん～に参加したこどもたち

Q 今までの練習の中で大変だったことは何ですか？

A 練習ではずっと正座しているのがしんどかったけど、鉦を叩くのは楽しかったし、本番で上手に叩けてうれしかった。おじいちゃんやおばあちゃんが「上手にできたね。」って褒めてくれたので、一生懸命がんばってよかったです。来年からは太鼓が叩けるのでとても楽しみです。



## 阪神北ふるさと文化の伝承事業の概要

兵庫県阪神北県民局では、地域の伝統文化を次世代に伝承し、住民のふるさと意識を高めるため、平成29年度からこの事業に取り組んでいます。

—コメント—  
田辺真人審査委員長  
(園田学園女子大学名誉教授)

都市の住宅地で子どもたちが継承しているひつつんつんは、阪神間に伝わる貴重な伝統文化ですね。



発行／兵庫県阪神北県民局  
問合せ先／同県民交流室地域振興課  
TEL 0797-83-3133  
版下制作／デザインオフィス・イコールライツ

兵庫県ホームページにて  
六斎念仏～ひつつんつん～の動画記録や  
詳細なインタビュー記事などを  
公開しています。

